令和4年度　鯖江市鳥羽小学校スクールプラン

【 校 訓 】
やさしく
かしこく
たくましく

【学 校 教 育 目 標】

社会の一員として　共に生きる力の育成

【めざす教師像】
○自ら学び続け、共有してともに高めあう教師
○児童・保護者・地域から信頼される魅力ある教師
○「チーム鳥羽」の一員として、進んで協働する教師
スローガン：“ ONE　TEAM ”

【めざす子ども像】

と	ば	の	こ	だ
途中であきらめずがんばる子	ばっちり聞いて伝える子	残さず食べて強い体をつくる子	心通わせ友達思いやる子	誰にでも進んで挨拶できる子

【研 究 主 題】

自ら学びに向かい　共に高め合う力（協働性）の向上

【重 点 目 標】

【確かな学力の向上】
＜さとし部会＞
基礎学力の定着と学びに向かう力の育成

【豊かな心の育成】
＜ゆかし部会＞
規範意識や自己肯定感の育成

【たくましく健やかな体の育成】
＜つよし部会＞
健康教育と体力の向上

【信頼される学校づくり】
家庭・地域との連携

【今年度の具体的な取組】

○基礎基本の定着を目指したわかる授業づくり
・授業の UD 化を徹底する。
・タブレットやデジタル教科書等のICT機器の効果的活用法を工夫・共有する。
○活用する力を伸ばす指導の工夫
・思考力・表現力を伸ばすために、ペア学習やグループ学習を活用する。
・語彙力の向上をめざす指導をする。
○学びに向かう力の育成
・主体的に学習する力を伸ばすために、「自主学習ノート」の効果的な活用を進める。
・発達段階に応じた「振り返り」を工夫する。

・「授業がわかる」と答える児童：90%以上
・授業の UD 化に取り組む教員：100%
・自分の思いや考えを表現する活動に意欲的に取り組む児童：80%以上
・自主学習ノートの取り組み目標達成児童：80%以上

○子どもの居場所がある学級経営
・共に生活するためのルールを遵守する意識を高めるとともに、いじめを見過ごさない風土を作る。
・SCやSSW、外部機関と連携し、教育相談を進める。
○ポジティブ教育の推進
・道徳や特別活動を軸として、自己肯定感を高める教育活動を実践する。
・SSTと並行し、ねばり強い心を育てるレジリエンス教育プログラムを実践する。
○共生教育の推進
・行事を中心として、仲間づくり（ピアサポート）を意識し縦割り班活動を工夫する。
・伝統となる異学年構成班による無言清掃を徹底する。

・学校が楽しいと答える児童：95%以上
・自他ともに大切にする児童：90%以上
・異学年集団での活動を楽しめた児童：90%以上

○基本的生活習慣の確立
・お便りや教育懇談を通して家庭と連携し、規則正しい生活習慣の定着を図る。
○健康教育と食育の推進
・給食畑を中心とした体験活動を通し、食に関する指導する。
・家庭と連携して、正しいはしの持ち方を指導する。
○体育の授業や業間体育の充実
・体力や技能の向上に効果的な学習法、スキル・ドリル練習などを提案・共有する。
・「体力つくり推進計画書」を工夫し、学年による系統的な実践をする。
・体育的な行事では、「めあての柱」をもとに協働性の向上を図る。

・規則正しい生活習慣（早寝・早起き・朝ごはん）を守れた児童：90%以上
・県体力・運動能力調査で県平均を上回る項目：50%以上

○積極的な情報発信と学校公開
・HPや各種たよりを通して、学校や児童の活動に関する情報を積極的に発信する。
・様々な学校行事を保護者や地域に積極的に公開して、開かれた学校をめざす。
○安心・安全に向けた取り組み
・新型コロナウイルス感染症対策の徹底を図る。
・PTA や地域と連携して、登下校時の見守り活動の充実を図る。
・SNS 利用等の情報モラル教育を計画的に行う。
・避難訓練を通し、「他人に気配りしながら安全な行動をとる」意識を高める防災教育を進める。
○ふるさと教育の推進
・郷土愛を育てるために、地域や関係機関と連携しながらふるさと学習を進める。
○幼保・中学校との連携の推進
・幼保・中学校との連携を強化することで、円滑な接続と深い児童理解へとつなげる。

・学校の取り組みに満足する保護者：90%以上
・ふるさと鯖江を大切に思う児童：90%以上

＜業務改善＞　・ノー残業デー（毎週水曜日）の実践　・新校務支援システムの有効活用　・学校行事や会議等の内容の精選　・教材や教具・指導法等の共有化